

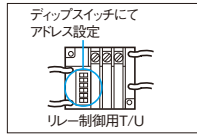
ご注意

他社リモコンシステムとの互換性がありませんので、他社システムとの組み合わせ使用はできません。

施工・設定の手順

施工 **手順 6** 施工……リレー制御盤・スイッチ・熱線センサスイッチなど器具の取り付けを行う。

設定 **手順 7** リレー制御用T/U※1、調光T/Uのアドレス設定を行う。●詳細は下記をご参照ください。
手順 8 スwitchのアドレス設定※2を行う。下記の表をご参照ください。



※1)リレー制御用T/Uのアドレス設定



※2)スイッチのアドレス設定

手順 9 パターン・グループ制御の内容設定を行う。
 事前に作成したパターン・グループの設定内容一覧表を基に、セレクトスイッチ部または小形パターン・グループ設定器(WRT9600)で制御内容設定する。
 ●詳細は117～119頁をご参照ください。
 ●設定内容一覧表は大切に保管してください。変更など保守点検に必要です。
 ●各設定器の役割

	小形パターン・グループ設定器(電流設定機能付)(アドレス設定機能付) WRT9630	小形パターン・グループ設定器(アドレス設定機能付) WRT9600	ワイヤレスアドレス設定器 WRT9500K	WRT5850W パターン・グループ設定スイッチ	パターン・グループ設定スイッチ付セレクトスイッチ WRT9103K
スイッチやT/Uに対する光アドレスの設定	○ 114頁	○ 114頁	○	×	×
パターン・グループ制御内容の設定	△ 117・118頁 ※3	△ 117・118頁 ※3	×	○ ※4	○
パターンに調光を組み込んだ場合のフェード時間設定	○	○	×	×	○
パターンに調光を組み込んだ場合の明るさレベルの設定	○	○	×	○ ※5	○
パターン・グループ制御内容のバックアップ(保存)	○	○	×	×	○
特殊な設定・確認の機能	○	○	×	×	○
ワイヤレス熱線センサの設定機能	○	×	×	×	×

●設定器は、設定用とは別にバックアップ用として保管することをおすすめします。

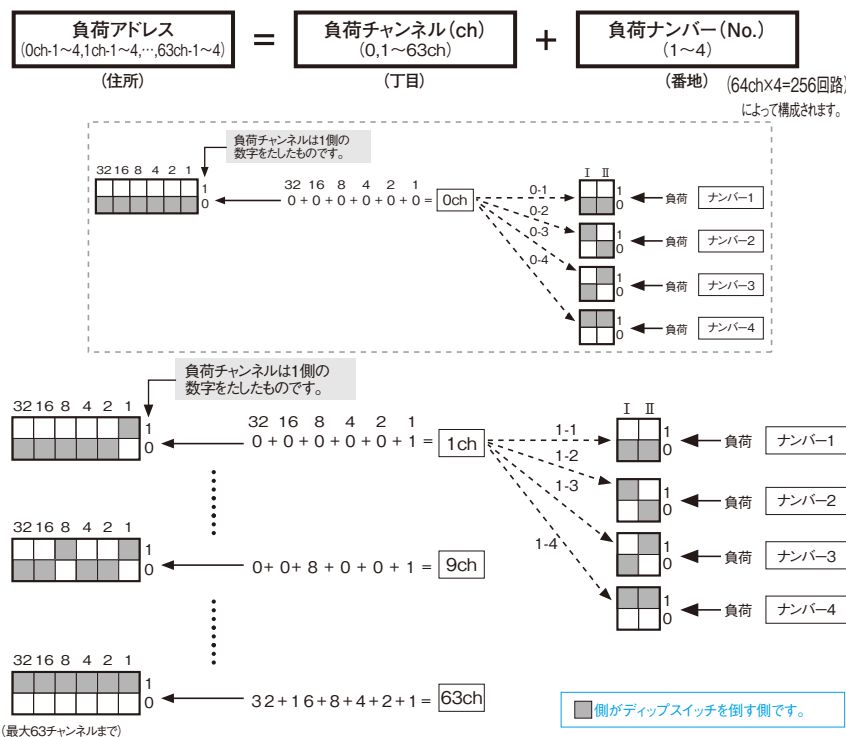
- ※3)有線で行います。4行毎のアドレスの表示ですので、回路数が少ない場合におすすめします。
- ※4)個別スイッチ、パターン・グループスイッチを並べたセレクトスイッチ部で行います。
- ※5)セレクトスイッチ部に調光スイッチが必要です。

動作確認 **手順 10** 動作確認を行います。

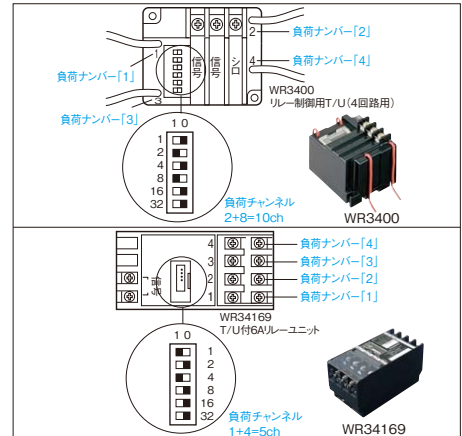
●スイッチを押しても負荷が点滅しない場合は133頁の「動作確認Q&A」をご参照ください。

設定方法とご注意

アドレス設定方法 ディップスイッチ設定式器具

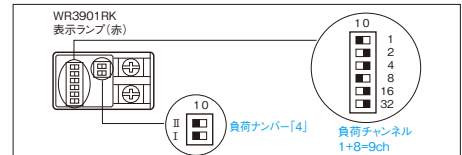


■リレー制御用T/U・T/U付6Aリレーユニット(4回路用)の場合……負荷ナンバー1,2,3,4は固定です。



注)リレー制御T/UおよびT/U付6Aリレーユニット、調光T/Uなどの負荷アドレスおよびセンサ入/切アドレス、タイマー不動作アドレスなどの重複はできません。

■表示ランプ、T/U付表示ランプ、個別制御用接点入力T/U(1入力用)リレー制御用T/U・T/U付6Aリレーユニット(1回路用)の場合……(負荷チャンネル+負荷ナンバー)設定が必要です。



●負荷アドレス・スイッチアドレス記入の平面図、負荷アドレス一覧表、パターン・グループの制御内容設定一覧表を必ず分電盤内などに保管してください。

ご注意 他社リモコンシステムとの互換性がありませんので、他社システムとの組み合わせ使用はできません。

ディップスイッチの設定一覧表

負荷チャンネル(ch) (側がディップスイッチを倒す側です。)

0ch		10ch		20ch		30ch		40ch		50ch		60ch	
1ch		11ch		21ch		31ch		41ch		51ch		61ch	
2ch		12ch		22ch		32ch		42ch		52ch		62ch	
3ch		13ch		23ch		33ch		43ch		53ch		63ch	
4ch		14ch		24ch		34ch		44ch		54ch			
5ch		15ch		25ch		35ch		45ch		55ch			
6ch		16ch		26ch		36ch		46ch		56ch			
7ch		17ch		27ch		37ch		47ch		57ch			
8ch		18ch		28ch		38ch		48ch		58ch			
9ch		19ch		29ch		39ch		49ch		59ch			

負荷ナンバー (1コ用、1回路用器具の場合) (側がディップスイッチを倒す側です。)

1		2		3		4	
---	--	---	--	---	--	---	--

アドレス設定方法 (8ビットディップスイッチ設定式)

■カードスイッチの場合 (8ビットディップスイッチ設定式)

品番	品名	個別制御	グループ制御	パターン制御
WR3891	カードスイッチ	○	○	×

注) 下記表の“-”のアドレス(ナンバー)および、左記以外の設定は、不動作、誤動作の原因となりますので設定しないでください。

●個別制御の場合

負荷アドレス (光アドレス設定式)	負荷チャンネル (ディップスイッチ設定式)	負荷ナンバー (ディップスイッチ設定式)
① ② ③ ④ 0-1, 0-2, 0-3, 0-4		
① ② ③ ④ 1-1, 1-2, 1-3, 1-4		
① ② ③ ④ 2-1, 2-2, 2-3, 2-4		
① ② ③ ④ 3-1, 3-2, 3-3, 3-4		
① ② ③ ④ 4-1, 4-2, 4-3, 4-4		
① ② ③ ④ 5-1, 5-2, 5-3, 5-4		
⋮		
① ② ③ ④ 61-1, 61-2, 61-3, 61-4		
① ② ③ ④ 62-1, 62-2, 62-3, 62-4		
① ② ③ ④ 63-1, 63-2, 63-3, 63-4		
① ② ③ ④ 64-1, 64-2, 64-3, 64-4		
① ② ③ ④ 65-1, 65-2, 65-3, 65-4		
① ② ③ ④ 66-1, 66-2, 66-3, 66-4		
① ② ③ ④ 67-1, 67-2, 67-3, 67-4		
① ② ③ ④ 68-1, 68-2, 68-3, 68-4		
① ② ③ ④ 69-1, 69-2, 69-3, 69-4		
① ② ③ ④ 70-1, 70-2, 70-3, 70-4		
① ② ③ ④ 71-1, 71-2, 71-3, 71-4		
① ② ③ ④ 72-1, 72-2, 72-3, 72-4		
① ② ③ ④ 73-1, 73-2, 73-3, 73-4		
① ② ③ ④ 74-1, 74-2, 74-3, 74-4		
① ② ③ ④ 75-1, 75-2, 75-3, 75-4		
① ② ③ ④ 76-1, 76-2, 76-3, 76-4		
① ② ③ ④ 77-1, 77-2, 77-3, 77-4		
① ② ③ ④ 78-1, 78-2, 78-3, 78-4		
① ② ③ ④ 79-1, 79-2, 79-3, 79-4		
① ② ③ ④ 80-1, 80-2, 80-3, 80-4		
① ② ③ ④ 81-1, 81-2, 81-3, 81-4		
① ② ③ ④ 82-1, 82-2, 82-3, 82-4		
① ② ③ ④ 83-1, 83-2, 83-3, 83-4		
① ② ③ ④ 84-1, 84-2, 84-3, 84-4		
① ② ③ ④ 85-1, 85-2, 85-3, 85-4		
① ② ③ ④ 86-1, 86-2, 86-3, 86-4		
① ② ③ ④ 87-1, 87-2, 87-3, 87-4		
① ② ③ ④ 88-1, 88-2, 88-3, 88-4		
① ② ③ ④ 89-1, 89-2, 89-3, 89-4		
① ② ③ ④ 90-1, 90-2, 90-3, 90-4		
① ② ③ ④ 91-1, 91-2, 91-3, 91-4		
① ② ③ ④ 92-1, 92-2, 92-3, 92-4		
① ② ③ ④ 93-1, 93-2, 93-3, 93-4		
① ② ③ ④ 94-1, 94-2, 94-3, 94-4		
① ② ③ ④ 95-1, 95-2, 95-3, 95-4		
① ② ③ ④ 96-1, 96-2, 96-3, 96-4		
① ② ③ ④ 97-1, 97-2, 97-3, 97-4		
① ② ③ ④ 98-1, 98-2, 98-3, 98-4		
① ② ③ ④ 99-1, 99-2, 99-3, 99-4		
① ② ③ ④ 100-1, 100-2, 100-3, 100-4		

●グループ制御の場合

グループアドレス (光アドレス設定式)	グループチャンネル (ディップスイッチ設定式)	グループナンバー (ディップスイッチ設定式)
① ② ③ ④ 1, 2, 3, 4		
① ② ③ ④ 5, 6, 7, 8		
① ② ③ ④ 9, 10, 11, 12		
① ② ③ ④ 13, 14, 15, 16		
① ② ③ ④ 17, 18, 19, 20		
① ② ③ ④ 21, 22, 23, 24		
⋮		
① ② ③ ④ 121, 122, 123, 124		
① ② ③ ④ 125, 126, 127, -		
① ② ③ ④ 128, 129, 130, 131		
① ② ③ ④ 132, 133, 134, 135		
① ② ③ ④ 136, 137, 138, 139		
① ② ③ ④ 140, 141, 142, 143		
① ② ③ ④ 144, 145, 146, 147		
① ② ③ ④ 148, 149, 150, 151		
① ② ③ ④ 152, 153, 154, 155		
① ② ③ ④ 156, 157, 158, 159		
① ② ③ ④ 160, 161, 162, 163		
① ② ③ ④ 164, 165, 166, 167		
① ② ③ ④ 168, 169, 170, 171		
① ② ③ ④ 172, 173, 174, 175		
① ② ③ ④ 176, 177, 178, 179		
① ② ③ ④ 180, 181, 182, 183		
① ② ③ ④ 184, 185, 186, 187		
① ② ③ ④ 188, 189, 190, 191		
① ② ③ ④ 192, 193, 194, 195		
① ② ③ ④ 196, 197, 198, 199		
① ② ③ ④ 200, 201, 202, 203		
① ② ③ ④ 204, 205, 206, 207		
① ② ③ ④ 208, 209, 210, 211		
① ② ③ ④ 212, 213, 214, 215		
① ② ③ ④ 216, 217, 218, 219		
① ② ③ ④ 220, 221, 222, 223		
① ② ③ ④ 224, 225, 226, 227		
① ② ③ ④ 228, 229, 230, 231		
① ② ③ ④ 232, 233, 234, 235		
① ② ③ ④ 236, 237, 238, 239		
① ② ③ ④ 240, 241, 242, 243		
① ② ③ ④ 244, 245, 246, 247		
① ② ③ ④ 248, 249, 250, 251		
① ② ③ ④ 252, 253, 254, 255		
① ② ③ ④ 256, 257, 258, 259		
① ② ③ ④ 260, 261, 262, 263		
① ② ③ ④ 264, 265, 266, 267		
① ② ③ ④ 268, 269, 270, 271		
① ② ③ ④ 272, 273, 274, 275		
① ② ③ ④ 276, 277, 278, 279		
① ② ③ ④ 280, 281, 282, 283		
① ② ③ ④ 284, 285, 286, 287		
① ② ③ ④ 288, 289, 290, 291		
① ② ③ ④ 292, 293, 294, 295		
① ② ③ ④ 296, 297, 298, 299		
① ② ③ ④ 300, 301, 302, 303		
① ② ③ ④ 304, 305, 306, 307		
① ② ③ ④ 308, 309, 310, 311		
① ② ③ ④ 312, 313, 314, 315		
① ② ③ ④ 316, 317, 318, 319		
① ② ③ ④ 320, 321, 322, 323		
① ② ③ ④ 324, 325, 326, 327		
① ② ③ ④ 328, 329, 330, 331		
① ② ③ ④ 332, 333, 334, 335		
① ② ③ ④ 336, 337, 338, 339		
① ② ③ ④ 340, 341, 342, 343		
① ② ③ ④ 344, 345, 346, 347		
① ② ③ ④ 348, 349, 350, 351		
① ② ③ ④ 352, 353, 354, 355		
① ② ③ ④ 356, 357, 358, 359		
① ② ③ ④ 360, 361, 362, 363		
① ② ③ ④ 364, 365, 366, 367		
① ② ③ ④ 368, 369, 370, 371		
① ② ③ ④ 372, 373, 374, 375		
① ② ③ ④ 376, 377, 378, 379		
① ② ③ ④ 380, 381, 382, 383		
① ② ③ ④ 384, 385, 386, 387		
① ② ③ ④ 388, 389, 390, 391		
① ② ③ ④ 392, 393, 394, 395		
① ② ③ ④ 396, 397, 398, 399		
① ② ③ ④ 400, 401, 402, 403		

●パターン制御の場合

パターンアドレス (光アドレス設定式)	パターンチャンネル (ディップスイッチ設定式)	パターンナンバー (ディップスイッチ設定式)
① ② ③ ④ 1, 2, 3, 4		
① ② ③ ④ 5, 6, 7, 8		
① ② ③ ④ 9, 10, 11, 12		
① ② ③ ④ 13, 14, 15, 16		
① ② ③ ④ 17, 18, 19, 20		
① ② ③ ④ 21, 22, 23, 24		
① ② ③ ④ 25, 26, 27, -		
① ② ③ ④ 28, 29, 30, -		
① ② ③ ④ 31, 32, 33, 34		
① ② ③ ④ 35, 36, 37, 38		
① ② ③ ④ 39, 40, 41, 42		

小形パターン・グループ設定器 (WRT9600) ……ワイヤレスアドレス設定機能あり

各部の名称とはたらき

付属ケーブル

- 受発光部(アドレス設定時使用)
- 液晶パネル表示部
- 確認キー
スイッチ・T/Uの種別確認・パターン・グループ制御内容確認するときに使用します。
- 機能設定キー
アドレス設定などの機能選択するときに使用します。
- バックライトON/OFFスイッチ
- カーソルキー
液晶パネル表示内容を選択するときに使用します。
- 電源スイッチ
- 順送り設定キー
アドレスの順送り設定、制御内容の順送り設定するときに使用します。
- アドレス設定キー
アドレス設定に切り替えるときに使用します。
- P・G設定キー
パターン・グループ制御内容設定に切り替えるときに使用します。
- フル2線信号接続部
(パターン・グループ設定時フル2線信号を接続します。)
- クリアキー
記入内容を消すときに使用します。
- 設定キー
・アドレス設定時、液晶パネル表示部に入力した機能・アドレスをスイッチ・T/Uに設定するときに使用します。
・制御内容設定時、液晶パネル表示部に入力した制御内容を伝送ユニットに設定するときに使用します。
- 切り換えキー
使用液晶パネル表示内容を切り替えるときに使用します。
- 実行キー
設定などを実行するときに使用します。
- キャンセルキー
設定などを中止するときに使用します。
- 初期キー
本器の初期設定をするときに使用します。
- 特別キー
伝送ユニットへの入・出力、システム状態チェック、編集などをするときに使用します。

WRT9600
希望小売価格 **69,500円**(税抜)
小形パターン・グループ設定器(アドレス設定機能付)
定格電圧DC6V(単乾電池4本別売)

液晶パネル表示部

●アドレス設定モードの場合

モード	種別	アドレスNo.	ON/OFF	タイマー	調光レベル
アドレス設定	個別	0-1	---	---	7
P-G設定	---	0-2	---	---	6
初期	---	0-3	---	---	5
特別	---	0-4	---	---	4
確認	スイッチ	入力/U	ルーT/U	調光T/U	電池残量

●モードを表示します。

●表示されているところの機能・アドレスが設定できます。

●確認したスイッチ・T/Uの種類を表示します。

●スイッチ・T/Uの機能を表示します。

●アドレスNo.を表示します。

●タイマー表示
●タイマー機能およびタイマー時間を表示します。

●電池残量表示
●3段階で電池の残量を表示します。

●パターン・グループ制御内容設定モードの場合

モード	種別	アドレスNo.	ON/OFF	タイマー	調光レベル
アドレス設定	個別	0-1	---	---	7
P-G設定	---	0-2	---	---	6
初期	---	0-3	---	---	5
特別	---	0-4	---	---	4
確認	スイッチ	入力/U	ルーT/U	調光T/U	電池残量

●モードを表示します。

●表示されているところの機能・アドレスが設定できます。

●確認したスイッチ・T/Uの種類を表示します。

●パターン制御内容設定時、フェード時間を表示します。

●編集内容を表示します。

●アドレスNo.を表示します。

●ON/OFFの設定内容を表示します。

●タイマー機能およびタイマー時間を表示します。

●調光レベル1~7を表示します。

ご注意

液晶パネル表示部は4アドレス分のため回路数が多い場合(50回路を超える場合)のパターン・グループ制御内容設定は、パターン・グループ設定スイッチ(WRT5850)付セレクトスイッチ部、またはパターン・グループ設定スイッチ付セレクトスイッチ(WRT9103K)での設定をおすすめします。

●111頁各設定器の役割にご参照ください。

特長

- ①小形パターン・グループ設定器1台で(アドレス設定)と(パターン・グループ制御内容設定)が可能です。
 - ②パターン・グループの設定・変更を机上で行い、後からフル2線信号線に接続することにより、設定・変更内容を伝送ユニットに記憶可能です。また、伝送ユニットに記憶されている制御内容を小形パターン・グループ設定器に入力し保管することができます。
 - ③パターン制御の内容設定時、個別アドレス使用の調光レベル設定ができます。(伝送ユニットWRT2050など、WRT2040系列使用の場合)
 - ④パターン制御の内容設定時、フェード時間の設定が可能です。(伝送ユニットWRT2050など、WRT2040系列使用の場合)
 - ⑤個別・グループ・パターン・調光制御の動作確認およびシステム状態確認が可能です。
- 詳細は、別途商品仕様書、仕様図を当社営業所にご請求ください。
●WR3212伝送ユニットは、パターン・グループ制御内容の読み込みのみで、入力はできません。

機能概要 設定方法

機能		概要	機能		概要
初期設定	操作音	本器の操作音の、あり/なしを設定	チェック	動作確認	本器よりフル2線システムを制御
	電源切断時間(オートパワーオフ機能)	本器の無操作時の電源切断時間を設定(なし、5分、10分)		システム状態表示	フル2線システムの状態を表示
	伝送ユニット	接続する伝送ユニットを設定 WRT2050はWRT2040に合わせてください。		端末登録P-G表示	選択した端末器の登録されているパターン・グループ番号を表示
	端末数変化監視	システムに接続されている端末数が変化したときに確認メッセージを表示		空き端末表示	システムの空き端末(アドレス)を表示
アドレス設定		スイッチ・T/UのアドレスNo.、スイッチの機能・タイマー時間の確認/設定	編集	パターン反転	パターン設定内容を反転
パターン・グループ設定		システムのパターン・グループ制御内容を確認/設定		コピー	パターンまたはグループの設定内容を他のパターン・グループにコピー
				オール消去	パターン・グループ設定内容を選択範囲ごとに消去
特別設定	伝送ユニット	入力	伝送ユニットからパターン・グループ設定内容を入力	範囲	パターン・グループ設定内容を選択範囲ごと一括編集
		出力	本器のパターン・グループ設定内容を伝送ユニットに出力	P-G設定モード設定	フル2線システムの状態を切替え
		照合	本器と伝送ユニットのパターン・グループ設定内容を照合	P-G設定内容一覧	選択したパターン・グループに登録されている端末器(アドレス)の状態を表示
			設定状態	空きP.G表示	使用されていないパターン・グループ番号を表示

アドレス送受信部 スイッチ・T/U(光アドレス設定式)

●エイトフリースイッチ(8コ用)の場合

受信表示ランプ
送受信後に点滅(約5秒間)します。

アドレス設定送受信部

●コスモ形(3コ用)の場合

受信表示ランプ
送受信後に点滅(約5秒間)します。

アドレス設定送受信部

●フルカラー形(4コ用)の場合

受信表示ランプ
送受信後に点滅(約5秒間)します。

アドレス設定送受信部

●露出形・セレクトスイッチの場合

受信表示ランプ
送受信後に点滅(約5秒間)します。

アドレス設定送受信部

●分電盤用・接点入力T/U(光アドレス設定式)の場合

受信表示ランプ
送受信後に点滅(約5秒間)します。

アドレス設定送受信部

●スイッチ4コ単位で設定を行います。



WRT9630
小形パターン・グループ設定器(アドレス設定機能付)(波設定機能付)でも設定ができます。

小形パターン・グループ設定器(WRT9600)によるアドレス設定

光アドレス設定式のスイッチ・T/Uは、伝送ユニットからのフル2線信号線が接続されていないと、アドレス設定はできません。

- アドレス設定時…… **手順1** → **手順2** → **手順3**
- アドレス確認時…… **手順1** → 確認後、アドレス設定器の電源を切る。
- アドレス変更時…… **手順1** → **手順2** (変更の所まで、**改行**を押しアドレスを変更する) → **手順3**

〈例〉スイッチ(3コ用)(フルカラー形)の場合

手順1

種類確認



1 WRT9600の電源を入れ、**アドレス設定**を押す。



2 スwitchの送受信部にWRT9600の受発光部(▲の所)を1cm以内に近づけ動かさない。



3 WRT9600の**確認**を押す。
※(WRT9600より(ピー音)確認するまで動かさない。)(約1~4秒)

初期設定時のWRT9600の液晶パネル表示

■スイッチ(3コ用)の場合

モード	制御種別	フル2線	2線OFF	タイマー	液晶パネル
フル2線設定	個別	2-1	---	---	---
P-G設定	個別	P	---	---	---
初期	個別	G	---	---	---
特別	---	---	---	---	---

注) — の所には設定できません。

※エラー時は、液晶パネル表示部に“アドレス確認ができません”と表示がでる。(ビッピビッピ音)
WRT9600の**キャンセル**を押し、再度操作を行う。

アドレス確認完了
●エラー表示“フル2線信号が存在しません”と表示された場合は、「1」[アドレス設定]を押す。」から始めてください。

手順2

WRT9600にアドレスを入力



- スイッチからWRT9600を離す。**1**コ目に「個別2-1」を入力する場合
- 個別**を押す。
- カーソル▶、**切り換え▲**を押し、アドレスNo.を“2-1”と選択する。

モード	制御種別	フル2線	2線OFF	タイマー	液晶パネル
フル2線設定	個別	2-1	---	---	---
P-G設定	個別	P	---	---	---
初期	個別	G	---	---	---
特別	---	---	---	---	---



- 2コ目に「P1」を入力する場合
- カーソル◀▼を押し、2段目の機能欄にカーソルを移す。
- P**を押す。
- カーソル▶、**切り換え▲**を押し、アドレスNo.を“1”と選択する。

モード	制御種別	フル2線	2線OFF	タイマー	液晶パネル
フル2線設定	個別	2-1	---	---	---
P-G設定	P	---	---	---	---
初期	---	---	---	---	---
特別	---	---	---	---	---



- 3コ目に「G3」を入力する場合
- カーソル◀▼を押し、3段目の機能欄にカーソルを移す。
- G**を押す。
- カーソル▶、**切り換え▲**を押し、アドレスNo.を“3”と選択する。

モード	制御種別	フル2線	2線OFF	タイマー	液晶パネル
フル2線設定	個別	2-1	---	---	---
P-G設定	P	---	---	---	---
初期	G	---	---	---	---
特別	---	---	---	---	---



- 3コ目のG3に「遅れ5分」を入力する場合
- カーソル▶**を押し、3段目のタイマー欄にカーソルを移す。
- 切り換え▲**を押し、「遅れ5分」を選択する。

モード	制御種別	フル2線	2線OFF	タイマー	液晶パネル
フル2線設定	個別	2-1	---	---	---
P-G設定	P	---	---	---	---
初期	G	---	---	遅れ5分	---
特別	---	---	---	---	---

注)パターンにタイマー設定はできません。

手順3

アドレスを設定



1 スwitchの送受信部にWRT9600の受発光部(▲の所)を1cm以内に近づけ動かさない。



2 WRT9600の**設定**を押す。
※(WRT9600より(ピー音)確認するまで動かさない。)(約1~4秒)

※エラー時は、液晶パネル表示部に“アドレス設定ができません”と表示がでる。(ビッピビッピ音)
WRT9600の**キャンセル**を押し、再度操作を行う。



- スイッチのハンドルを外し鉛筆でアドレス(ナンバー)を入力する。
- WRT9600の電源を切る。

●エラー表示について

エラー表示	症状(メッセージ)	点検	処置
アドレス設定時 エラー(E-10)	“アドレス確認ができません”	スイッチ・T/Uにフル2線の信号線が接続されていますか?	キャンセルを押し、フル2線信号線を接続してください。
	“アドレス設定ができません”	スイッチ・T/Uと本器の間が離れすぎていませんか? 本器に電池が入っていますか? ●電池が入ってなく(消耗)、付属ケーブルをつないでいる状態	キャンセルを押し、1cm以内で行ってください。 本器に電池を入れ、再度行ってください。
	エラー(E-11)	“確認データが異常です”	“確認中”表示がされている間に本器を動かしていませんか? キャンセルを押し、確認中は本器を動かさないでください。

エラー表示	症状(メッセージ)	点検	処置	
アドレス設定時 エラー(E-12)	“確認機種と異なります”	確認したスイッチ・T/Uの機種と設定した機種が異なっていませんか?	キャンセルを押し、確認操作からやり直してください。	
	エラー(E-13)	“確認末端個数と異なります”	2コ用スイッチのアドレスを4コ用スイッチに設定するなど、確認したアドレス数と設定したアドレス数が異なっていませんか?	キャンセルを押し、確認操作からやり直して、アドレスNo.を正しく入力してください。
	エラー(E-14)	“アドレス設定ができません”	確認した調光スイッチの機種と設定した機種が異なっていませんか?	キャンセルを押し、確認操作からやり直して、アドレスNo.を正しく入力してください。
	エラー(E-20)	“フル2線信号が存在しません”	モード表示がP・G設定になっていますか?	[アドレス設定]キーを押してから、再度 確認 キーを押してください。

在庫区分 代理店様に在庫をお願いする商品

メーカーに一定量在庫している商品

受注後○営業日以内に工場出荷する商品

受注後○日以内に工場出荷する商品

※地区により積送期間が異なります。状況により納期がかかる場合がございますのでご了承ください。希望小売価格には消費税は含まれておりません。

ご注意

アドレス設定器(WRT9500K)では、パターン・グループ制御内容設定はできません。
 ※パターン・グループ設定スイッチ(WRT5850)付セレクトスイッチ部、または小形パターン・グループ設定器(WRT9600)にて設定を行います。111頁各設定器の役割をご参照ください。

ワイヤレスアドレス設定器(WRT9500K)

各部の名称とはたらき

- 液晶パネル表示部
- 確認キー
スイッチ・T/Uの種別確認するときに使用します。
- 機能設定キー
アドレス設定の機能選択するときに使用します。
- テンキー
アドレス設定するときに使用します。
- アドレスクリアキー
アドレスNoを消すときに使用します。
- 順送り設定キー
アドレスを順送り、設定するときに使用します。
- 電源スイッチ
- 受発光部
- 改行キー
表示部のカーソルを改行(行送り)するときに使用します。
- 設定キー
液晶パネル表示部に入力した機能・アドレスをスイッチ・T/Uに設定するときに使用します。
- バックライトキー
液晶パネル表示部が点灯し、暗い所でも見やすくなります。
※キー入力があれば1分後に自動消灯します。
- タイマクリアキー
タイマの設定内容を消すときに使用します。
- タイマキー
タイマ時間を設定するときに使用します。
※(遅れ消灯)30秒、1分、5分
(一時点灯)30秒、1分、5分、60分、120分

●タイマ機能選択キー
(遅れ消灯キー)または(一時点灯)選択キー。

●WRT9500K
希望小売価格 37,500円(税抜)
ワイヤレスアドレス設定器
定格電圧DC6V
(単3乾電池4本別売)

液晶パネル表示部

- 設定・確認表示
設定・確認操作時に点滅し、送受信中表示をします。
- カーソル
表示されているところの機能・アドレスNo.等が設定できます。
- 機能表示
スイッチ・T/Uの機能を表示します。
- エラー表示
確認・設定操作時にエラーが発生すれば表示します。
- 電源表示
- 種別表示
確認したスイッチ・T/Uの種類を表示します。
- アドレスNo.表示
アドレスNo.を表示します。
- タイマ表示
タイマ機能及びタイマ時間を表示します。
- 電池切れ表示
表示がでたときには、電池を交換してください。

●アドレス設定器の電源が入っている状態で、10分以上キー入力がない場合は「ビープ」という音で電源の切り忘れを知らせてくれます。
電源スイッチが「入」のままで電池が消耗しますので必ず「切」にしてください。

アドレス送受信部 スイッチ・T/U(光アドレス設定式)

- エイトフリースイッチ(8コ用)の場合
受信表示ランプ 送受信後に点滅(約5秒間)します。
アドレス設定送受信部
- ワイド21形(3コ用)の場合
受信表示ランプ 送受信後に点滅(約5秒間)します。
アドレス設定送受信部
- フルカラー形(4コ用)の場合
アドレス設定送受信部
受信表示ランプ 送受信後に点滅(約5秒間)します。
- 露出形・セレクトスイッチの場合
受信表示ランプ 送受信後に点滅(約5秒間)します。
アドレス設定送受信部
●スイッチ4コ単位で設定を行います。
- 分電盤用・接点入力T/U
T/U付6Aリレーユニット(光アドレス設定式)の場合
受信表示ランプ 送受信後に点滅(約5秒間)します。
アドレス設定送受信部
- 壁埋込用・T/U付6Aリレーユニットの場合
アドレス設定送受信部
受信表示ランプ 送受信後に点滅(約5秒間)します。
- ワイヤレススイッチ(4コ用)の場合
ネームカバーを上げた状態
受信表示ランプ 送受信後に点滅(約5秒間)します。
アドレス設定送受信部
ネームカバー
アドレス設定切替スイッチ

種類別アドレスNo.およびタイマ設定範囲 スイッチ・T/U(光アドレス設定式)

種別	機能	アドレスNo.	タイマ	
			遅れ消灯	一時点灯
スイッチ	個別	0-1~0-4, 1-1~63-4	30秒 1分 5分	30秒 1分 5分 60分 120分
	G:グループ	1~127	30秒 1分 5分	30秒 1分 5分 60分 120分
	P:パターン	1~72	—	—
	調光、調光(ON/OFF)	1~16	30秒 1分 5分	30秒 1分 5分 60分 120分
入力T/U	個別	0-1~0-4, 1-1~63-4	—	—
	G:グループ	1~127	—	—
	P:パターン	1~72	—	—
	調光(ON/OFF)	1~16	—	—
リレーT/U	個別	0-1~0-4, 1-1~63-4	—	—
調光T/U	調光	1~16	—	—

注) ・ ——— 部は設定できません。

ワイレスアドレス設定器(WRT9500K)によるアドレス設定

〈例〉スイッチ(3コ用)(フルカラー形)の場合

手順1

種類確認



1 WRT9500Kの電源を入れる。



2 スwitchの送受信部にWRT9500Kの受発光部(▲の所)を1cm以内に近づけ動かさない。



3 WRT9500Kの**確認**を押す。
※(WRT9500Kより<ピー音>)確認するまで動かさない。(約1~4秒)
↓
アドレス確認完了

初期設定時のWRT9500Kの液晶パネル表示

■スイッチ(3コ用)の場合

スイッチ	入力/0	グループ/0	調光/0
個別	2-1		タイム
個別			
個別			
	---		--

注) ---の所には設定できません。

※エラー時は、液晶パネル表示部の左下に“エラー”と表示がでる。(ビップビップビップ音)
アドレス設定器の**アドレスクリアー**を押し、**2 3**操作を行う。

手順2

WRT9500Kにアドレスを入力



1 スイッチからWRT9500Kをはなす。
機能設定キー(個別)または[G]または[P]または[調光]を押す。
例えば、個別アドレス2-1を入力する場合、**2 - 1**を押す。



2 2コ目にアドレスが必要な場合**改行**を押す。
例えば、次に[P]1と押す。
([P]:パターン)



3 3コ目にアドレスが必要な場合**改行**を押す。
例えば、次に[G]3と押す。
([G]:グループ)



4 グループ3にタイム(遅れ消灯・一時点灯)設定をしたい場合は、**タイム機能選択**キーと**タイム**キーを押す。
例えば、遅れ消灯5分を設定する場合**遅れ**(5分)と押す。

カーソル

スイッチ	入力/0	グループ/0	調光/0
個別	2-1		タイム
個別			
個別			
	---		--

スイッチ	入力/0	グループ/0	調光/0
個別	2-1		タイム
P	/	--	
個別			
	---		--

スイッチ	入力/0	グループ/0	調光/0
個別	2-1		タイム
P	/	--	
G	3		
	---		--

スイッチ	入力/0	グループ/0	調光/0
個別	2-1		タイム
P	/	--	
G	3	遅れ 5分	
	---	----	--

注) パターンにタイム設定はできません。

手順3

アドレスを設定



1 スイッチの送受信部にWRT9500Kの受発光部(▲の所)を1cm以内に近づけ動かさない。



2 WRT9500Kの**設定**を押す。
※(WRT9500Kより<ピー音>)確認するまで動かさない。(約1~4秒)
↓
アドレス設定完了

※エラー時は、液晶パネル表示部の左下に“エラー”表示がでる。(ビップビップビップ音)
WRT9500Kの**アドレスクリアー**を押し、“エラー”表示を消し、再度**1, 2**の操作をする。



3 ●スイッチのハンドルをはずし鉛筆でアドレス(ナンバー)を記入する。
●WRT9500Kの電源を切る。

WRT9630
小形パターン・グループ設定器(アドレス設定機能付)(波設定機能付)でも設定ができます。

●小形パターン・グループ設定器(WRT9600)の各種機能は113頁をご参照ください。

小形パターン・グループ設定器(WRT9600)によるパターン・グループ制御内容設定方法

- パターン・グループ制御の範囲設定……1, 2, 4～8の操作をする。
- パターン・グループ制御の範囲確認……1～3, 8の操作をする。
- パターン・グループ制御の範囲変更……1～3, 5～8の操作をする。

〈パターン・グループ制御内容設定前に〉

- ①アドレスプラン表を完成しておいてください。
- ②T/U・スイッチ・セレクトスイッチのアドレス設定を済ませておいてください。
- ③フル2線信号線にWRT9600を接続する。

ご注意

- 1) 使用しない負荷アドレスは、制御対象外とし、制御内容に入れないでください。
- 2) 小形パターン・グループ設定器は持ち歩き可能なため、パターン・グループ設定スイッチ(WRT5850)付セレクトスイッチ部の併設をおすすめします。
- 3) パターン制御・グループ制御を行う場合は、必ずパターン・グループ制御内容設定が必要です。

■伝送ユニットへのグループ制御の範囲設定手順(初期設定時)



- パターン・グループ設定器をフル2線信号線に接続する。
- パターン・グループ設定器の電源を入れる。
- 機能設定キー[G]を押す。

〈液晶パネル表示部〉

モード	制御種別	アドレスNo.	ON/OFF	タイマー	調光レベル
アドレス設定	G 2	0-1			7
					6
P-G設定		0-2			5
					4
初期	オール	0-3			3
	除 外				2
特別	グループ	0-4			1
確認	スイッチ	入力/U	リレー/U	調光/U	電池残量

- 「G2」の制御範囲を「0-1、0-2、1-1、1-2」とする場合
- カーソル▶、切り換え▲を押し、グループアドレスを「2」と選択する。



確認を2秒以上押し、「G2」の制御内容を伝送ユニットから入力し、カーソル▶、切り換え▲を押しながら確認する。20秒ほど読み込まれます。(確認が不要の場合③は行わなくてもよい)

〈液晶パネル表示部〉

モード	制御種別	アドレスNo.	ON/OFF	タイマー	調光レベル
アドレス設定	G 2	0-1			7
					6
P-G設定		0-2			5
					4
初期	オール	0-3			3
	除 外				2
特別	グループ	0-4			1
確認	スイッチ	入力/U	リレー/U	調光/U	電池残量

初期設定時はカーソル◀▼、切り換え▲を押し編集表示を「オール除外」と選択し、必ず実行を押す。●選択したグループの内容を消去できます。(確認・一部変更の場合④は行わない。)

〈液晶パネル表示部〉

モード	制御種別	アドレスNo.	ON/OFF	タイマー	調光レベル
アドレス設定	G 2	0-1	ON		7
					6
P-G設定		0-2	ON		5
					4
初期	オール	0-3			3
	除 外				2
特別	グループ	0-4			1
確認	スイッチ	入力/U	リレー/U	調光/U	電池残量

グループ制御対象負荷を決める。

- カーソル▶▼を押し、グループ対象としたいアドレスNo.を選択する。
- カーソル▶▼を押し、「0-1」のON/OFF表示に切り換え▲を押し、「ON」を選択する。
- カーソル▶▼を押し、「0-2」のON/OFF表示に切り換え▲を押し、「ON」を選択する。

〈液晶パネル表示部〉

モード	制御種別	アドレスNo.	ON/OFF	タイマー	調光レベル
アドレス設定	G 2	1-1	ON		7
					6
P-G設定		1-2	ON		5
					4
初期	オール	1-3			3
	除 外				2
特別	グループ	1-4			1
確認	スイッチ	入力/U	リレー/U	調光/U	電池残量

カーソル◀を押し、切り換え▲を押し、⑤と同様に「1-1」、「1-2」に「ON」を選択する。

(ON/OFF表示「ON」…グループ対象
無表示…グループ対象外)



設定を2秒以上押し、「G2」の制御範囲を伝送ユニットに設定する。20秒ほど書き込まれます。他のグループの制御範囲を設定する場合は、②～⑦を繰り返し設定する。



電源OFF後、外す。

グループ設定が完了すれば、設定器の電源を切り、フル2線信号線への接続を外す。

■タイマー(遅れ消灯、一時点灯)機能の設定方法

上記、手順⑤の時点で、タイマー機能を持たせたいアドレスNo.に「ON」を選択した後、カーソル▶、切り換え▲を押し、タイマー表示に設定したいタイマー機能を選択する。

- タイマー機能…
- 一時点灯
30秒、1分、5分、60分、120分
 - 遅れ消灯
30秒、1分、5分

- 一時点灯・遅れ消灯回路を計8回路まで、1つのグループに設定可能です。
- グループ制御では、調光の明るさレベル制御(設定)はできません。

注)リレー制御用T/Uにリレーが接続されていない端子がありアドレスを設定している場合は、グループ設定時にそのアドレスをグループ対象外としてください。

●エラー表示について

エラー表示	症状(メッセージ)	点検	処置
P・G設定時	エラー(E-20) “フル2線信号が存在しません”	フル2線信号線が接続されていますか? 伝送ユニットの電源が入っていますか?	フル2線信号線を接続してください。 キャンセルを押して、伝送ユニットの電源を入れてください。
	エラー(E-21) “伝送ユニット判別ができません”	伝送ユニットがWRT2000K系列で、システムに接続されている調光T/Uの切替スイッチが、WRT2050側になっていませんか? 伝送ユニットがWRT2050系列以外のフル2線システムで個別または設定スイッチが繰り返し操作や、熱線センサが検知していませんか?	接続されている調光T/Uの切替スイッチをWRT2000K側にしてください。 伝送ユニットに対して入出力中に、フル2線システム側のスイッチ操作や、熱線を検知する可能性がある場合は本器を直接接続して入出力してください。

エラー表示	症状(メッセージ)	点検	処置
P・G設定時	エラー(E-22) “設定モードを解除してください”	フル2線システム側が設定状態になっていませんか?	キャンセルを押して、フル2線側のスイッチの「設定・通常切替スイッチ」を操作して通常モードにしてください。
	エラー(E-40)(E-41)(E-42) “データの出力ができません”	伝送ユニットがWRT2050系列以外のフル2線システムで個別または設定スイッチが繰り返し操作されていますか? 本器からフル2線システムへ入出力中に伝送ユニットの電源が切れていませんか?	伝送ユニットに対して入出力中に、フル2線システム側のスイッチ操作はしないでください。(スイッチが操作される可能性がある場合は本器を伝送ユニットに直接接続して入出力してください。) 伝送ユニットの電源が原因調査対策後、伝送ユニットの電源を入れ、再度入出力してください。

■伝送ユニットへのパターン制御の内容設定手順(初期設定時)



- パターン・グループ設定器をフル2線信号線に接続する。
- パターン・グループ設定器の電源を入れる。
- 機能設定キー [P] を押す。

〈液晶パネル表示部〉

モード	制御別	アドレスNo.	ON/OFF	タイマー	調光レベル
アドレス設定	P 2	0-1	—	—	7
P-G設定	フリット	0-2	—	—	6
初期	オール	0-3	—	—	5
特別	ON	0-4	—	—	4
					3
					2
					1

確認 スイッチ 入力T/U リレーT/U 調光T/U 電池残量

- [P2]の制御内容を「0-1、1-1をON、0-2、1-2をOFF」とする場合
- カーソル▶、切り換え▲を押し、パターンアドレス「2」を選択する。



- 確認を2秒以上押し、「P2」の制御内容を伝送ユニットから入力し、カーソル▶、切り換え▲を押しながら確認する。20秒ほどで読み込まれます。(確認が不要の場合③は行わなくてもよい)

モード	制御別	アドレスNo.	ON/OFF	タイマー	調光レベル
アドレス設定	P 2	0-1	—	—	7
P-G設定	フリット	0-2	—	—	6
初期	オール	0-3	—	—	5
特別	クリア	0-4	—	—	4
					3
					2
					1

確認 スイッチ 入力T/U リレーT/U 調光T/U 電池残量

- 初期設定時はカーソル◀、切り換え▲を押して、編集表示を「オールクリア」と選択し、必ず[実行]を押す。●選択したパターンの内容を消去できます。(確認一部変更の場合④は行わない。)

モード	制御別	アドレスNo.	ON/OFF	タイマー	調光レベル
アドレス設定	P 2	0-1	ON	—	7
P-G設定	フリット	0-2	OFF	—	6
初期	オール	0-3	—	—	5
特別	クリア	0-4	—	—	4
					3
					2
					1

確認 スイッチ 入力T/U リレーT/U 調光T/U 電池残量

- パターン制御対象負荷を決める。
- カーソル▶▼を押して、パターン対象としてアドレスNo.を選択する。
 - カーソル▶▼を押して、「0-1」のON/OFF表示に切り換え▲を押して、「ON」を選択する。
- カーソル▼を押して、「0-2」のON/OFF表示に切り換え▲を押して、「OFF」を選択する。

モード	制御別	アドレスNo.	ON/OFF	タイマー	調光レベル
アドレス設定	P 2	1-1	ON	—	7
P-G設定	フリット	1-2	OFF	—	6
初期	オール	1-3	—	—	5
特別	クリア	1-4	—	—	4
					3
					2
					1

確認 スイッチ 入力T/U リレーT/U 調光T/U 電池残量

- カーソル◀を押して、切り換え▲を押して、⑤と同様に「1-1」に「ON」「1-2」に「OFF」を選択する。

ON/OFF表示「ON」…ON設定
「OFF」…OFF設定
無表示…パターン対象外



- 設定を2秒以上押し、「P2」の制御内容を伝送ユニットに設定する。20秒ほどで書き込まれます。他のパターンの制御内容を設定する場合、②～⑦を繰り返し設定する。



- パターン設定が完了後、設定器の電源を切り、フル2線信号線への接続を外す。

■調光レベル設定方法(調光T/Uご使用の場合)

上記、手順⑤の時点で、調光レベルを設定したいアドレスNo.に「ON」を選択した後、

カーソル▶、切り換え▲を押して、調光レベル表示に設定したい調光レベル1～7(暗～明)を選択する。

注)個別アドレス使用の調光制御を行う場合は、必ず伝送ユニットはWRT2050など、WRT2040系列をご使用ください。

■タイマー(遅れ消灯、一時点灯)機能の設定方法

上記、手順⑤の時点で、タイマー機能を持たせたいアドレスNo.に「ON」を選択した後、カーソル▶、切り換え▲を押して、タイマー表示に設定したいタイマー機能を選択する。

- (タイマー機能…●一時点灯30秒、1分、5分、60分、120分)
●遅れ消灯 30秒、1分、5分
●一時点灯・遅れ消灯回路を計8回路まで、1つのパターンに設定可能です。

■フェード時間設定方法

上記、手順⑤の時点で、

カーソル▼、切り換え▲を押して、フェード表示に設定したいフェード時間を選択する。

(フェード時間…ナシ、3秒、6秒、1分)

注1)フェード時間を設定する場合は、必ず伝送ユニットはWRT2050など、WRT2040系列をご使用ください。

注2)リレー制御用T/Uにリレーが接続されていない端子がありアドレス設定している場合は、パターン設定時にそのアドレスをパターン対象外としてください。

注3)OFFに対してフェード制御はできません。

セレクトスイッチ部(パターン・グループ設定スイッチ付)によるパターン・グループ制御内容設定方法

注)グループ・パターン設定中、負荷は動作しません。
注)アドレス設定には、設定器が必要です。
(WRT9600)

(グループ・パターン設定の前に)

- ①アドレスプラン表を完成しておいてください。
- ②設定器(WRT9600)を使用し、T/U・スイッチ・セレクトスイッチのアドレス設定を済ませておいてください。

●設定内容が不用意に変更されないよう、パターン・グループ設定スイッチ(WRT5850)の共用部などへの設置は避けください。

■伝送ユニットへのグループ制御の範囲設定手順(初期設定時)

- グループ制御の範囲設定……1～7の操作をする。
- グループ制御の範囲確認……1～3, 6, 7の操作をする。
- グループ制御の範囲変更……1～3, 5～7の操作をする。

セレクトスイッチの
パターン・グループ設定スイッチも
同様です。

1 パターン・グループ設定スイッチ(WRT5850)の保護カバーを開ける。

2 設定・通常切替スイッチを押す。(表示ランプ(赤)点灯)

3 範囲設定をしたい「グループ」のスイッチを押す。(スイッチのLED(緑)→(赤)点灯)

4 初期設定時は必ず「オールエリア外、除外設定用」スイッチを押す。(表示ランプ(赤)点灯) ●選択したグループの内容を消去できます。(確認一部変更の場合4は行わない)

5 「個別制御用」スイッチを押して、グループ制御対象負荷を決める。
(LED(赤)点灯……………グループ対象)
(LED(赤・緑)両方点灯……………グループ対象外)
同じ方法で3, 4, 5を繰り返し設定する。
●タイマー設定を行う場合は右記をご参照ください。

6 グループ設定が終われば、「設定・通常切替」スイッチを押す。(表示ランプ(赤)点灯)

7 保護カバーを閉める。

■タイマー(遅れ消灯、一時点灯)機能の設定方法

- ①グループ制御の範囲設定をする前に、タイマー(遅れ消灯・一時点灯)機能を持たせたい「個別制御用」スイッチにタイマー機能をワイヤレスアドレス設定器(WRT9630・WRT9600・WRT9500K)で設定を済ませておく。
 - ②上記、手順5の時点で、タイマー(遅れ消灯・一時点灯)機能に設定した「個別制御用」スイッチのLEDを(赤)・(緑)両方点灯させる。
 - 一時点灯・遅れ消灯回路を計8回路まで1つのグループに設定可能です。
- 注)グループ制御では、調光の明るさレベル制御(設定)はできません。

ご注意

- 1)リレー制御用T/Uにリレーが接続されていない端子がありアドレスを設定している場合は、グループ設定時にそのアドレスをグループ対象外としてください。
- 2)グループ設定中にワイヤレススイッチを操作しないでください。

■伝送ユニットへのパターン制御の内容設定手順(初期設定時)

- パターン制御の内容設定……1～7の操作をする。
- パターン制御の内容確認……1～3, 6～7の操作をする。
- パターン制御の内容変更……1～3, 5～7の操作をする。

●便利機能 パターン設定時4の後に

●オン設定が多い場合

オールオン設定用スイッチを押し、オン設定以外の負荷を個別スイッチで設定したい状態に変更する。

●オフ設定が多い場合

オールオフ設定用スイッチを押し、オフ設定以外の負荷を個別スイッチで設定したい状態に変更する。

1 パターン・グループ設定スイッチ(WRT5850)の保護カバーを開ける。

2 設定・通常切替スイッチを押す。(表示ランプ(赤)点灯)

3 内容設定をしたい「パターン」のスイッチを押す。(スイッチのLED(緑)→(赤)点灯)

4 初期設定時は必ず「オールエリア外、除外設定用」スイッチを押す。(表示ランプ(赤)点灯) ●選択したパターンの内容を消去できます。(確認一部変更の場合4は行わない)

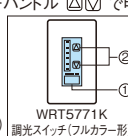
5 「個別制御用」スイッチを押して、パターン制御対象負荷を決める。
(LED(赤)点灯……………ON)
(LED(緑)点灯……………OFF)
(LED(赤・緑)両方点灯……………パターン対象外)
同じ方法で3, 4, 5を繰り返し設定する。
●調光レベル設定・タイマー設定を行う場合は右記をご参照ください。

6 設定後、「設定・通常切替」スイッチを押し、「通常」に戻す。(表示ランプ(赤)点灯)

7 保護カバーを閉める。

■調光レベル設定方法

- ①ON・OFF制御のスイッチハンドルを押し、LED表示を(赤)点灯させる。
 - ②調光スイッチのスイッチハンドル(▽)で明るさレベル設定をする。
- (△…明るさアップ、▽…明るさダウン)
(目盛としてLED6コにて明るさレベルを調整する)
- 注)調光スイッチ以外では明るさレベル設定はできません。(ON/OFF設定のみ可能)



■タイマー(遅れ消灯、一時点灯)機能を設定する場合

- ①パターン制御内容の設定をする前に、タイマー(遅れ消灯・一時点灯)機能を持たせたい「個別制御用」スイッチにタイマー機能をワイヤレスアドレス設定器(WRT9630・WRT9600・WRT9500K)で設定を済ませておく。
- ②上記、手順5の時点で、タイマー(遅れ消灯・一時点灯)機能を持った「個別制御用」スイッチを操作しLEDを(赤)・(緑)両方点灯させる。
- 一時点灯・遅れ消灯回路を計8回路まで1つのパターンにタイマー設定可能です。

ご注意

- 1)リレー制御用T/Uにリレーが接続されていない端子がありアドレスを設定している場合は、パターン設定時にそのアドレスをパターン対象外としてください。
- 2)パターン設定中にワイヤレススイッチを操作しないでください。

フル2線式リモコン図記号

図記号	名称(品名)	品番
電線		
—	電力線	—
----	フル2線信号線(ペア線)	—
----	ワイヤレス信号線(ペア線)	—
----	調光信号線(ペア線)	—
----	熱線センサ付自動スイッチ(子器) 増設信号線(ペア線)	—
■	電灯分電盤	—
リレー制御盤		
☐	リレー制御盤	—
盤内部品		
CPU	伝送ユニット	WRT2050
CPUG	受注品 伝送ユニット(グループ監視表示形)	WRT2055
Ry-T/U ₄	リレー制御用T/U	WR3400 WR3440K WRT4014 WR2301 WR2311 WR2321
R-Tr	リモコントランス	WR6165 WR6161K
▲ R-Ry	20Aフルパワーリモコンリレー片切	WR6166
▲ _D R-Ry _D	20Aフルパワーリモコンリレー両切	WR6166
▲ ₄ T/U-6A ₄	T/U付6Aリレーユニット片切(4回路用)	WR34169 WRT41249
▲ T/U-6A	T/U付6Aリレーユニット片切(1回路用)	WR3426K
▲ _S T/U-6A _S	防湿形T/U付6Aリレーユニット片切(1回路用)	WR3428K
▲ _{D4} T/U-6A _{D4}	T/U付6Aリレーユニット両切(4回路用)	WR34179
▲ _D T/U-6A _D	T/U付6Aリレーユニット両切(1回路用)	WR34279
▲ ₅₀₀ LC T/U-LC ₅₀₀	T/U付調光ユニット(白熱灯500W用)	WRT4345
▲ ₈₀₀ LC T/U-LC ₈₀₀	T/U付調光ユニット(白熱灯800W用)	WRT4348
▲ ₁₅₀₀ LC T/U-LC ₁₅₀₀	T/U付調光ユニット(白熱灯1500W用)	WRT43415
T/U-LC LED	T/U付LED調光ユニット (光アドレス設定式)(分電盤用)	WRT4740
LC-T/U CON	LED照明・蛍光灯調光T/U	WRT4243
MT-T/U	電動機器用T/U	WRT4421K WRT4422K
EE連動 ₁	EEスイッチ連動ユニット(1入力用)	WRT3251
入力T/U ₄	接点入力T/U(4入力用)	WRT3224K
入力T/U _{S4}	防湿形接点入力T/U(4入力用)	WRT3214
入力T/U ₁	接点入力T/U(1入力用)	WRT3211
LC入力T/U	調光用接点入力T/U	WRT3241
表示T/U _{NC4}	状態表示用T/U(状態一致時ON形)(4出力用)	WRT4621K
表示T/U _{NO4}	状態表示用T/U(状態一致時ON形)(4出力用)	WRT4622K
AMP	増幅器	WR3913
NF-Tr	ノイズフィルタトランス	WR2701
SPU	信号線雷サージ防護ユニット	WR3925
信号T/U	信号ラインモニターT/U	WR39319
TM _R	年間プログラムタイマユニット	WRT3540K
RB-R-T/U ₄	AC100V・200V リモコンブレーカ制御用T/U(4回路用)	WR34509
RB-R-T/U _S	防湿形AC100V・200V リモコンブレーカ制御用T/U(1回路用)	WR3452K
O-FU _M	オープン通信インターフェース(M型)	WRT2646
MNU _{IN}	接点状態監視入力ユニット	WRT2511
MNU _{OUT}	接点状態監視出力ユニット	WRT2519
LKP	強制パターン保持ユニット	WRT2583
○LKP	強制パターンレベル表示ランプ	WRT2589RK
LKU	スイッチ操作ロックユニット 盤外部品	WRT2580
Web	Webサーバユニット (計量機能付)(分電盤用)	—
NCU	ネットワークコントロールユニット (NCU)(分電盤用)	—
LIU	ローカルインターフェースユニット (LIU)(分電盤用)	—

図記号	名称(品名)	品番
盤外部品		
▲ ₄	天井用・T/U付6Aリレーユニット片切 (4回路用)	WR34619
▲ _{D4}	天井用・T/U付6Aリレーユニット両切 (4回路用)	WR34629
▲	照明器具内蔵用・T/U付6Aリレーユニット 片切(1回路用)	WR34061K
HA-T/U	HA端子用T/U	WRT4500
AMP	天井用・増幅器	WR3915 WR39152
SS _R	調光T/U付照度センサ	WRT3617
▽ _R	照度センサスイッチ	WRT3657
▽ _{SS}	照度センサスイッチ(軒下用)(センサ部)	WRT3655K
●SSC	照度センサスイッチ(軒下用)(照度・アドレス設定部)	
スイッチ		
●R(8T)	スイッチ(エイト形) エイトフリースイッチ	WRT5511W, WRT5512W WRT5513W, WRT5514W WRT5518W
●R	スイッチ	WRT55019W, WRT5501K WRT55029W, WRT5502K WRT55039W, WRT5503K WRT55049W, WRT5504K
●R(EN)	液晶ネームタッチスイッチ	WRT9261K
●MR	個別スイッチ	—
●RP	パターンスイッチ	
●RG	グループスイッチ	
●RT	一時点灯スイッチ	
●RD	遅れ消灯スイッチ	WRT5850W WRT5850
●RS	パターン・グループ設定スイッチ	
●MR	調光スイッチ	WRT57319W WRT5771K
●RG	グループ調光スイッチ	—
●MT	電動機器制御スイッチ	WRT54019W
●RC	カードスイッチ	WR3891
▽ _R	熱線センサ付自動スイッチ	WRT3374K
▽ _R (広角)	熱線センサ付自動スイッチ(広角検知)	WRT3364K
○ _R	熱線センサ付自動スイッチ (親器)(壁埋込形)	WRT3394
▽ _R (広角)WP	熱線センサ付自動スイッチ (親器・広角検知形)(軒下天井取付形)	WRT3354
○ _{RWP}	熱線センサ付自動スイッチ(光アドレス設定式) (親器)(明るさセンサ付)(屋側壁防雨形)	WRT3384
▽ _R	熱線センサ付自動スイッチ(子器)	WRT3375
▽ _R (広角)	熱線センサ付自動スイッチ(子器・広角検知)	WRT3365
○ _R	熱線センサ付自動スイッチ(子器)(壁埋込形)	WRT3395
▽ _R (増設用)(広角)	熱線センサ付自動スイッチ (子器・子器増設・広角検知)	WRT3367
▽ _R (広角)WP	熱線センサ付自動スイッチ (子器・広角検知形)(軒下天井取付形)	WRT3355
○ _{RWP}	熱線センサ付自動スイッチ (子器)(屋側壁防雨形)	WRT3385
▽ _R	ワイヤレス熱線センサ付自動スイッチ (電波アドレス設定式)	WRT1130
SR	ワイヤレス受信器 (電波設定式)(天井取付形)	WRT1400
EP	液晶スイッチ (地図画面表示式)	WRT9231K
R	セレクタスイッチ	—
RS	受注品 パターン・グループ設定スイッチ付 セレクタスイッチ	WRT9103K
●MR	ワイヤレス個別スイッチ	WRT1511K WRT1514K
●RG	ワイヤレスグループスイッチ	
●RP	ワイヤレスパターンスイッチ	WRT1561K
●MR	ワイヤレス調光スイッチ	
●RG	ワイヤレスグループ調光スイッチ	
ワイヤレス受信器		
SR	埋込ワイヤレス受信器 (フル2線信号出力形)(天井取付形)	WRT1320
表示ランプ		
○R	表示ランプ	WR3900RK・WK
○T/U	T/U付表示ランプ	WR3901RK・WK
マスターワイヤレス		
SRM	マスターワイヤレス用受信器	WRT13906
●RM	マスターワイヤレススイッチ	WRT15919

フル2線式リモコン

概要編

商品編

制御編

設計手順編

施工編

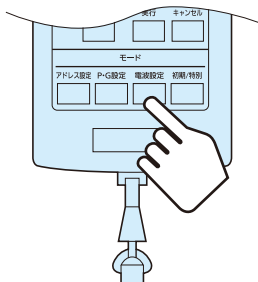
付録

フル2線式リモコン

基本設定方法 のつづき

2 ワイヤレス受信器 (WRT1400) へのワイヤレス熱線センサ (WRT1130) の登録

- ① WRT9630の電源を入れ
電波設定を押す。



- ② カーソル▲▼ を押し
“受信器への登録設定”
を選択し、実行を押す。

〈液晶パネル表示部〉

受信器初期設定
受信器への登録設定
アドレス設定
アドレス一括設定

- ③ 登録したいワイヤレス受信器のIDを確認するため、
“サーチ”を選択し、
実行を押す。
(指定のIDに対応する
ワイヤレス受信器の
LEDが点滅)

〈液晶パネル表示部〉

受信器		
01234567	サーチ	
01234568	サーチ	
▼ 01234569	サーチ	

- ④ 登録したいワイヤレス
受信器のIDを選択し、
確認を押す。

〈液晶パネル表示部〉

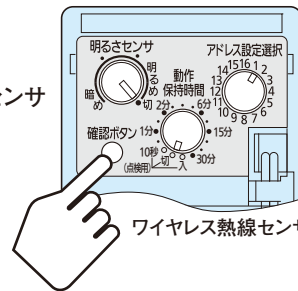
受信器		
01234567	サーチ	
01234568	サーチ	
▼ 01234569	サーチ	

- ⑤ ワイヤレス受信器に登録
されている熱線センサの
IDリストが表示される。
新たなワイヤレス熱線
センサを登録する場合は、
“追加登録”を選択し、
実行を押す。

〈液晶パネル表示部〉

登録端末			
12345678	サーチ		追加登録
12345679	サーチ		
▼ 12345680	サーチ		

- ⑥ 登録したいワイヤレス熱線センサ
の 確認ボタン を押す。
(2秒以上長押し)



- ⑦ WRT9630の画面に
“-----を登録します”
と表示され、
実行を押す。
(ピー音が鳴ります。)

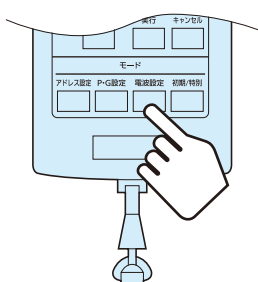
〈液晶パネル表示部〉

11111111
を登録します
戻る ▶ キャンセル
登録 ▶ 実行

- ⑧ 他に登録したいワイヤレス熱線センサも⑤～⑦を
繰り返し設定する。
⑨ 他のワイヤレス受信器にワイヤレス熱線センサを
登録する場合、③～⑧を繰り返す。
⑩ 設定が終わればWRT9630の電源を切る。

3 ワイヤレス熱線センサ (WRT1130) のアドレス設定

- ① WRT9630の電源を入れ
電波設定を押す。



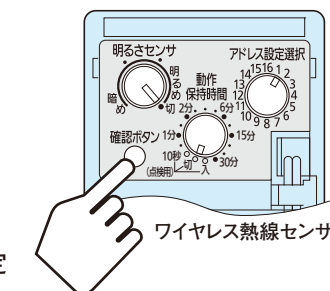
- ② カーソル▲▼ を押し
“アドレス設定”を選択し、
実行を押す。

〈液晶パネル表示部〉

受信器初期設定
受信器への登録設定
アドレス設定
アドレス一括設定

※ アドレス設定を1以外でも
登録する(1～16)場合は、
“アドレス一括設定”を
選択し、実行を押す。

- ③ 設定したい
ワイヤレス熱線センサの
確認ボタン を
押す。(2秒以上長押し)



- ④ WRT9630にアドレス設定
画面が表示される。

- ⑤ カーソル▶◀◂◃◅◆◇◈◉◊ を押し、
設定したいアドレス制御内容を入力し、
設定を押す。

●個別アドレス使用時〈液晶パネル表示部〉

制御内容	個別	1-1	-	-
(負荷(照明)制御用のアドレス)	個別			
(センサ切入アドレス)	個別	58-1	-	-
		-	-	-

●グループアドレス使用時〈液晶パネル表示部〉

制御内容	G	1	-	-
(負荷(照明)制御用のアドレス)	個別			
(センサ切入アドレス)	個別	58-1	-	-
		-	-	-

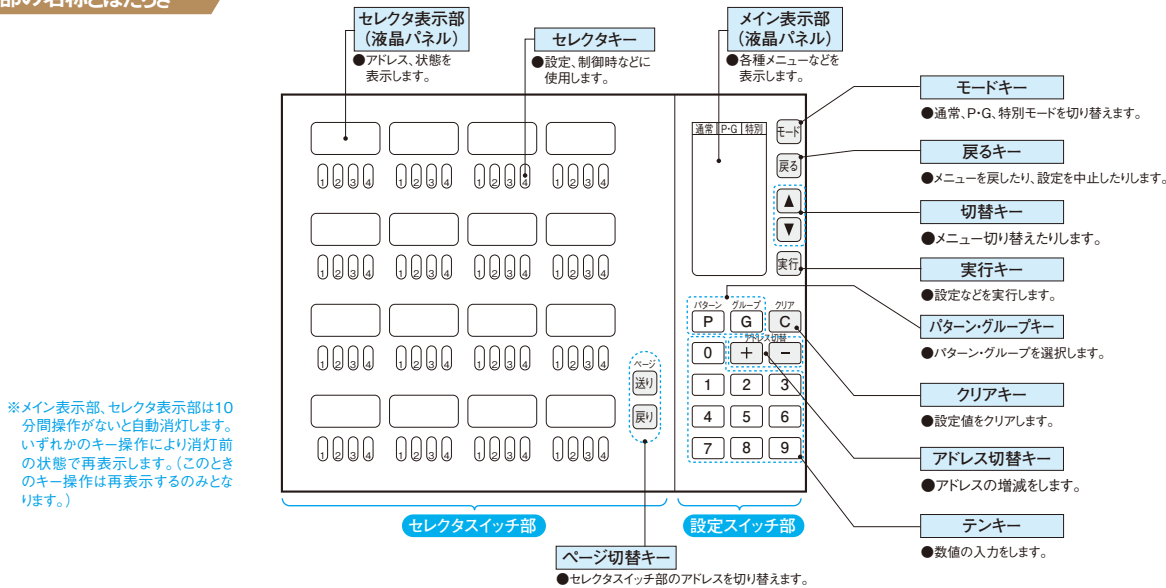
●パターンアドレス使用時〈液晶パネル表示部〉

制御内容	P	1	-	-
(負荷(照明)ON時のアドレス)	P	2	-	-
(負荷(照明)OFF時のアドレス)	個別	58-1	-	-
(センサ切入アドレス)		-	-	-

- ⑥ 他のワイヤレス熱線センサも②～⑤を繰り返し設定する。
⑦ 設定が終わればWRT9630の電源を切る。

パターン・グループ設定スイッチ付セクタスイッチ (WRT9103K) の設定方法

各部の名称とはたらき



基本設定方法

手順	パターン設定の場合	グループ設定の場合														
1	モードで▲マークをP・Gに合わせる。															
2	<p>▲ ▼ で編集に合わせ、実行を押す</p> <p>1.2. 通常 P・G 特別 編集 伝送ユニットから入力 伝送ユニットへ出力</p> <p>3. 通常 P・G 特別 P・G編集 アドレス コピー パターン反転 消去</p> <p>※伝送ユニット設定がWR3212の場合は「伝送ユニットへの出力」、「コピー」、「パターン反転」、「消去」のメニューはありません。</p>															
3	P (パターン) を押す	G (グループ) を押す														
4	<p>編集するアドレスをテンキーまたは + - で入力する。</p> <p>●そのアドレスの制御内容をセクタ表示部に表示します。</p> <p>●必要に応じて編集機能を使用したり、フェード時間を設定してください。</p> <p>このとき ▼ を長押し(約3秒)すると表示されているアドレスの制御内容を伝送ユニットから入力できます。</p> <p>入力をやり直す場合は C でクリアできます。</p>															
5	<p>セクタキーで制御内容を選択する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●送り戻りでチャンネル表示を切り替えることができます。 ●押すたびに状態が切り替わります。 ●選択中はセクタ表示部にカーソル(―)が表示されます。(セクタ表示部) <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>O</td> <td>ON(〇:タイマ設定あり、○:調光レベル設定あり)</td> </tr> <tr> <td>X</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>エリア外</td> </tr> </tbody> </table> <p>※〇、○は伝送ユニット設定がWRT2050、WRT2040、WRT2000Kのときのみ表示されます。</p>	表示	状態	O	ON(〇:タイマ設定あり、○:調光レベル設定あり)	X	OFF	なし	エリア外	<p>セクタキーで制御内容を選択する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●送り戻りでチャンネル表示を切り替えることができます。 ●押すたびに状態が切り替わります。 ●選択中はセクタ表示部にカーソル(―)が表示されます。 <p>〈セクタ表示部〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>O</td> <td>グループ対象(〇:タイマ設定あり)</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>グループ対象</td> </tr> </tbody> </table> <p>※〇、○は伝送ユニット設定がWRT2050、WRT2040、WRT2000Kのときのみ表示されます。</p>	表示	状態	O	グループ対象(〇:タイマ設定あり)	なし	グループ対象
表示	状態															
O	ON(〇:タイマ設定あり、○:調光レベル設定あり)															
X	OFF															
なし	エリア外															
表示	状態															
O	グループ対象(〇:タイマ設定あり)															
なし	グループ対象															
<p>※編集中のパターンアドレスの制御内容はそのままでは本器に記憶されませんので、編集後はパターンアドレスを切り替えるか、メニューを切り替えて記憶させてください。</p> <p>このとき ▲ を長押し(約3秒)すると表示されているアドレスの制御内容を伝送ユニットへ出力できます。(同時に本器に記憶されます。)</p>																

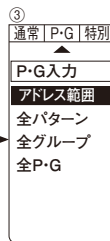
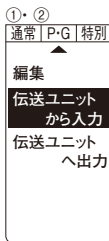
手順は次ページに続きます。

基本設定方法 のつづき

パターン・グループ制御内容の入力（伝送ユニットから）

伝送ユニットからパターン・グループ制御内容を本機に入力します。
 ※伝送ユニット設定は接続する伝送ユニットと合わせてください。

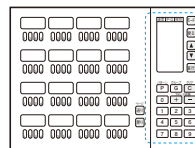
- ① モードで▲マークをP・Gに合わせる。
- ② ▲ ▼で伝送ユニットから入力に合わせ、実行を押す
- ③ ▲ ▼で入力方法を選択し、実行を押す



〈入力方法〉

メニュー	入力方法
アドレス範囲	任意のアドレス範囲のみ入力
全パターン	全部のパターンを入力
全グループ	全部のグループを入力
全P・G	全部のパターン・グループを入力

※伝送ユニット設定がWR3212の場合は「伝送ユニットへの出力」のメニューはありません。

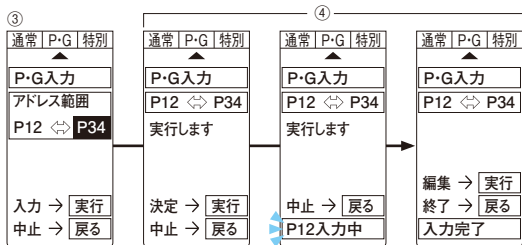
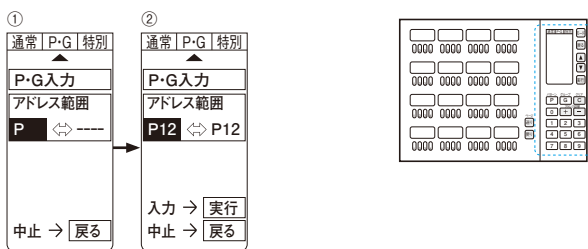


アドレス範囲を選択した場合

- ① P (パターン) またはG (グループ) を P G で選択する
- ② 開始アドレスをテンキーまたは + - で入力し、実行を押す
- ③ 終了アドレスをテンキーまたは + - で入力し、実行を押す

②③で入力をやり直す場合は C でクリアできます。

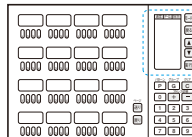
- ④ 表示された内容でよければ 実行を押す
 - 入力が開始され、完了すると入力完了と表示されます。
 - 入力中に中止したい場合には、戻るを押す
現在入力中のアドレスが入力完了した時点で中止されます。



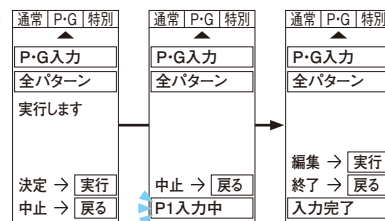
全パターン、全グループ、全P・Gを選択した場合

表示された内容でよければ 実行を押す

- 入力が開始され、完了すると入力完了と表示されます。
- 入力中に中止したい場合には、戻るを押す
現在入力中のアドレスが入力完了した時点で中止されます。

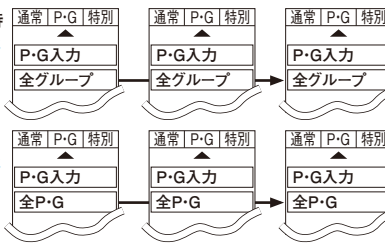


■全パターンを選択時



■全グループを選択時

※表示部の下の部分は全パターン選択時と同様です。



■全P・Gを選択時

※表示部の下の部分は全パターン選択時と同様です。



※全P・Gで入力した場合、約30分かかります。
 ※WRT2050、WRT2040の系列以外の伝送ユニットをご使用の場合、正しく設定するために入力中は、フル2線システム側のスイッチ操作は行わないでください。

いずれの入力方法でも、これで終了する場合は 戻る、引き続き編集する場合は 実行を押す

- 編集は入力した最初のアドレスの編集画面となります。

パターン・グループ制御内容の出力（伝送ユニットへ）

本機のパターン・グループ制御内容を伝送ユニットに出力します。
 ※伝送ユニット設定がWRT2050、WRT2040、WRT2000Kのときのみ使用できます。
 ※伝送ユニット設定は接続する伝送ユニットと合わせてください。

- ① モードで▲マークをP・Gに合わせる。
- ② ▲ ▼で伝送ユニットから出力に合わせ、実行を押す
- ③ ▲ ▼で出力方法を選択し、実行を押す

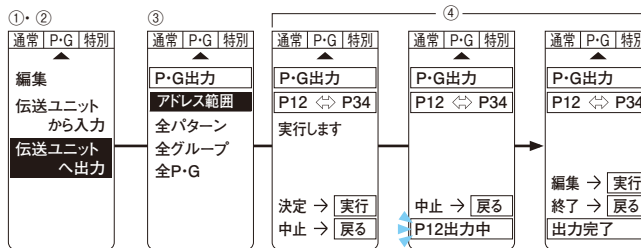
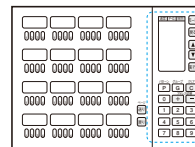
●出力方法の手順は「パターン・グループ制御内容の入力」をご覧ください。

- ④ 表示された内容でよければ 実行を押す
 - 出力が開始され、完了すると出力完了と表示されます。
 - 出力中に中止したい場合には、戻るを押すと、
現在出力中のアドレスが完了した時点で中止されます。

※全P・Gで出力した場合、約30分かかります。
 ※WRT2040系列以外の伝送ユニットをご使用の場合、正しく設定するために出力中は、フル2線システム側のスイッチ操作は行わないでください。

〈出力方法〉

メニュー	出力方法
アドレス範囲	任意のアドレス範囲のみ出力
全パターン	全部のパターンを出力
全グループ	全部のグループを出力
全P・G	全部のパターン・グループを出力



ご注意

- ① 設定内容を正しく入出力するために、本機から伝送ユニットへ出力するとき、または本機へ入力するときフル2線システム側スイッチ操作は行わないでください。
- ② パターンおよびグループのアドレスが全て設定されている場合、本機から伝送ユニットへ出力または本機へ入力するとき最大約30分かかります。
- ③ 設定した内容または伝送ユニットから本機へ入力した設定内容は電源を切っても消去されません。
- ④ フル2線システム側に全チャンネルのT/Uが接続されていなくても256回路全ての設定内容を入力または出力します。